

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
声優・演劇科											
演技研究Ⅱ											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	40	単位	2
担当教員	長谷川 浩司			実務 経験	有	職種	俳優				
授業概要											
映画、テレビ、舞台など、様々な作品に触れながら演技を研究実践します。											
到達目標											
手法の嗜好が偏らないよう様々なジャンルの有用性を考慮したうえで、声優・俳優として与えられた配役の役柄としての理解を深め、その為にどのような役作りをしていくべきかを考える力をさらに持てるようにする。時代と共に変化をしていく演技法を、自己の表現の為に、外観改造、内心や心情を思索する等、様々な要素を役作りに取り入れ、声優・俳優の仕事に対してより本質的な向き合い方ができる役者になる事を目標とする。											
授業方法											
舞台・映画・アニメーション・ゲーム等、様々なメディアにおいて必要な、キャストについてさらに見識を深める。演技する者として表現者であり続けるために様々なジャンルの作品を通して、自分に有益なものを吸収し、演技というものを理解する。この授業に参加する学生が、固定観念に縛られず、自由な発想、役柄の掘り下げ方など、芸能の世界において活動していくための研究の必要性を理解することを目指す。											
成績評価方法											
作品内容の理解度・感想、積極的な授業参加度・授業態度等、試験と課題を総合的に評価する。											
履修上の注意											
授業において鑑賞した作品のレポートの提出は必須とする。作品内容（あらすじ）の理解よりも自分自身がどう思いどうしていくべきかを意見できる事を評価・重要視する。恒常的出席が単位授与の基本原則である。授業時数の4分の3以上出席をしない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
レジュメ・資料は必要に応じて配布。参考資料等は授業内で指示する。											
回数	授業計画										
第1回	古典作品について理解する。										
第2回	古典作品（邦画）について理解する。										
第3回	ドキュメント作品を理解する。										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
声優・演劇科	
演技研究Ⅱ	
第4回	邦画によるドキュメント作品描写の違いを理解する。
第5回	革新的な技術を用いた作品に関しての、技術と演技の融合について理解する。
第6回	最新技術を用いた作品を考察、それによって演技との関係性を理解する。
第7回	舞台での表現方法と映像での表現方法の違いについて理解する。
第8回	アニメーションを考察、声優について考察し、なぜ声優が必要なのか理解する。
第9回	アニメーション作品を考察、声優の技術について理解する。
第10回	～第15回 様々なジャンルを見比べて来て、自分がどのように作品に関わり、どんな声優・俳優になるべきかを考え、理解する。